

第73回大野市介護保険運営協議会概要

令和4年6月17日（金）午後7時～午後8時15分
結とびあ3階 302号室

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

4. 会長あいさつ

5. 議題

(1) 介護保険運営協議会の所掌事務について【資料1】

事務局別添資料に基づき説明

【意見等】 特になし

(2) 介護保険事業の実施状況について【資料2】

事務局別添資料に基づき説明

【意見等】 ○介護保険事業の実施状況のグラフを見ると、今現在基準の保険料が6,000円なのに、令和3年12月現在の必要保険料月額とは約200円乖離している。乖離している状況はカバーできるのか。

→今のところは、国の交付金等でカバーできている。

○次期の基金の見込みは。

→基金を取り崩す見込みで8期も計画を立てたが、まだ一度も取り崩しておらず、次期の見込みは不明。

○コロナと積雪でデイサービスを中止せざるを得なくなったり給付費が減少していると思うが、今後はもう少し給付費が上がるのでは。9期の保険料をたてる時の算定が難しいと思う。

→これまでは、市と委員の皆様で計画を立てていたが、今年度から9期の計画を立てるにあたり専門家を入れて計画を立てたいと思う。他市の状況も把握でき、他の状況を鑑みて計画を立てたいと思う。

6. 報告事項

(1) 大野市介護保険条例の一部を改正する条例案について【資料3】

事務局別添資料に基づき説明

【意見等】 ○令和3年度の実績は。

→2件。

(2) 介護サービス事業所の指定及び指定更新等について【資料4】

事務局別添資料に基づき説明

【意見等】 特になし

7. その他

- 【意見等】 ○大野市は、元気な高齢者が多いという印象。一世帯の人数が多く、高齢者が孫をみたりと役割をもっていたり、仕事をしていたり、高齢でも元気な人が多い。団塊の世代が後期高齢者になると、今後は家族の体制や状況が変わってくるので、それを見据えて計画に反映できると良い。
- 孤独死が多い。介護保険がこれだけ普及しているが、関わっていない人も多いと感じる。
- サービスにうまくつながる人もいれば、つながらない人もいる。そのような方をどうやって見守っていくかが課題。
- 施設に入りたくても、なかなか入れないと聞く。一人が多くの施設に申し込んでいると聞く。例えば、被保険者一人につき施設は3件まで申し込めるとか、ルールづくりがあるとスムーズに行くのかなと思う。県外の施設に申し込んだりして、ご苦労されている。施設の利用料の支払いが大変だとも聞く。保険料は所得に応じて段階があるが、要介護3～5の介護サービスの利用料はかなりの金額になるので、施設の利用料で躊躇している方もいると思う。
- 低所得の人には、施設の利用料の軽減措置があるし、利用料が一定の金額を超えると高額介護サービスもある。
- ひとつの施設ではなく何か所か施設に申し込んでいる人が多い。大野市では待機者はほとんどいないのではと思う。
- 高齢者が大野市で増えてきており、居宅サービスも増えているが、介護サービス提供側は働く人をさがすのが大変。市外の施設では外国人を13名雇用し、外国の方に介護を担ってもらった時代になったのかなと思う。外国人の方の教育体制も考えていかなければと思う。市として働き手不足の対策は、
- また相談させていただきたい。いろんな職種で人手不足と聞く。看護職も不足していると聞いている。
- 看護職でも長時間の業務ができない方もいて、全ての業務を担ってもらえない問題もある。
- ショートステイがなかなか利用できないと感じる。ショートステイの目的として介護疲れとか病気の時に預けたいのだが、本当にショートステイを利用したい時に利用できない難しさを感じた。行政への苦情はないか。
- 一時期空床利用でとりやすくなったが、現在はコロナの影響でショートステイが取れにくくなっている。施設側もできるかぎり応えようとしてくれているのがわかる。ロングショートを使わないと自宅では介護が無理な方もいるので難しいところではある。
- 介護保険料が高いと感じる。
- 私の町内でも介護一步手前の人が多い。町内では、要援護者の避難がテーマとなっている。介護を進めていくだけではなく、自立することも考えなくてはならない。
- 自立していただくことを忘れがちになるが、自立することは大事なこと。
- 介護サービスが利用しやすいものであってほしいし、生活レベルに見合った

介護保険にしていきたいと思います。

○私の母が数年間介護サービスを利用していた。ケアマネジャーやかかりつけ医、看護師が連携してくださり丁寧な対応で大変ありがたかった。このようなサービスを継続していきたいと思います。

母が要支援の時に、フレイル等勉強したが、本人へ説明しても理解してもらえなかった。介護する側の説得の仕方とかを知りたかった。

→リハビリをして体を動かすことが、その方の為だと思って話をしてもなかなかわかってもらえないといったことがある。介護する側が、本人へ説明する方法についても、これからは考えていきたい。

○2025年に団塊の世代が後期高齢者になるので、サービス提供側は、利益を優先するのではなく、介護の質、職員の質の向上に努めたい。

○先ほどの資料にあった介護保険事業の実施状況の見える化システムのグラフですが、このように比較できると、皆さんも興味を持たれると思うので、ホームページで公表していきたいと思います。

→公表する。

○知人の家族が、市外の病院に入院して退院後に介護サービスを利用することになったが、ケアマネジャーと病院が連携してくれて、スムーズに介護保険を利用でき助かったと聞いている。

私の隣の家の人が高齢の女性なので、家の電気がついているか等気にかけている。近所の仲が良いので、自分の親が日中畑仕事しているなどか、近所の人が見てくれていると助かる。

→大野市にそのような地域が増えていくといいなと思う。見守りも近所でできると、避難の時も違うのかなと思う。

○今から来年度に向けて第9期の計画を策定するなかで、施設入所の場合は、市外からの入所者と市外の施設に入所している人の数の差を考慮する等、この協議会で協議していかななくてはならない。

8. 閉会あいさつ